

「東北農業研究」原稿執筆要領

岩手県盛岡市下厨川字赤平 4
(〒020-0198) 東北農業研究センター内
東北農業試験研究協議会
Tel.019-643-3573、3414

I. 原稿の作り方

1. 原稿の長さ

一論文につき、刷上り 2 ページ以内とする。2 ページに図、表、写真も含む。
原稿は A4 判とする。

2. 原稿の作り方

原稿はそのまま写真製版印刷されるので、図面等は白黒でプリントしてみて鮮明になるように作成すること。

写真は白黒ではりつけること。

●書式の目安は下記及び別紙見本参照

1) タイトル、見出し等の文字フォント・サイズは見本のとおりとする。

2) 文中の**数字、単位は半角**とする。

3) 設定

[MS Word の例]

本文のページレイアウトを次のように設定する。

① 段組み : 2 段

詳細設定: 段の幅 2 3 字

② ページ設定

余白 上 25mm

下 27mm

左 22mm

右 22mm

文字数と行数を指定する

文字数 2 4 字 字送り 9.85pt

行数 5 6 行 行送り 12.4pt

フォントの設定 **明朝 9 ポイント (本文)**

(游明朝は薄いので勧めない)

4) その他

別紙の原稿ひな形 (word) を利用すると設定の苦労が軽減される。

II. 論文の構成・書き方

1. 論文の構成

標題、著者名、所属名、英文標題、英文著者名、英文所属名、本文、引用文献の順とする。

2. 論文の書き方

(1) 標題

① 標題は内容を簡潔かつ適切に表現したものとし、「…に関する研究」、「…について」などの語句はできるだけ避ける。

② 「第 3 報」などのように、副題に報次をつける場合は、報次によって主題を変更しない。

(2) 著者名

- ④ 引用文献は、一括して**和・欧を区別せず、筆頭著者の姓のA B C順**（同一著者の時は発表年次順、同姓の時は名のA B C順）に配列し、一連番号をつける。
- ⑤ 著者名は姓、名（欧文著者名の場合は頭文字のみ）の順に記載する。（下記〔引用文献の記載例〕参照）
2名以上の場合は、和文著者名はコンマ（, ）、欧文著者名はセミコロン（; ）で区切り、いずれも列挙する。ただし、欧文著者名の姓は、頭文字を大文字、2字目以下を小文字、名は大文字イニシャルとする。
- ⑥ 文献の標題は省略しないで書く。欧文の場合、最初の語の頭文字は大文字とし、以下の語の大文字の用法はその言語の文法に従う。
- ⑦ 和文引用文献の著者名・標題（書名）は、制限漢字、歴史的仮名遣いを用いた原文のままでよいが、雑誌名は新字体とする。
- ⑧ 雑誌名の略称は、その雑誌が自ら指定しているものやI S Oの略記基準によるものを用い、勝手な略記はしない。なお、欧文誌名の各語の第1字目を大文字、第2字目以下は小文字とする。

〔引用文献の記載例〕

- 1) 細川定治, 斎藤健一. 1965. 甜菜褐斑病に対する圃場抵抗性. 育雑 15 : 13-17.
- 2) 甲斐 諭. 1976. 肉牛生産の展開構造. 明文書房. p. 79.
- 3) Fuller, M.P. ; Eagles, C.F. 1978. A seedling test for cold hardiness in Lolium perenne L. J. Agric. Sci. 91 : 217-222.

III. 文章・用語等

1. 文章は、和文、横書き、口語体とする。術語以外は当用漢字を用い、現代かなづかいによる。
2. 術語は、学術用語集や関係学会、又はこれに準じる機関で使用されているものを用いる。取り決めのない用語は各専門分野の慣例に従う。
3. 動植物名は、カタカナ書き、もしくは漢字書きとする。
学名等でイタリック体にする場合は、イタリック体で表記した原稿を提出する。
4. 品種名は全角カギ括弧「 」または全角引用符「 ‘ ’ 」等にくくる。その使用方法は、研究分野の慣例による。
5. 単位の表記は、単位記号を用いる。
6. まぎらわしい文字や記号（ギリシャ文字とローマ字、ローマ字と数字など）がある場合は、区別できるように明瞭に表記する。
7. 句読点は、**点（、）、丸（。）を用いる。**

IV. 図・表・写真

1. 図・表及び写真は、本文の説明に必要なものに限り、図と表の重複は避ける。
2. 記載に当たっては、できるだけ本文中に入れず、**2ページ目に一括して入れる。**
3. 本文中には説明箇所、図1、表1などのように記入する。
4. **表の標題は上部に、図・写真の標題は下部**につける。
5. **図は白黒で作成し、写真も白黒**とする。
6. 図・写真の両脇には本文は入れない（写真説明は入れてよい）。

V. 著作権について

1. 東北農業研究に掲載された論文の著作権は、著者に帰属するものとする。
2. 著者に帰属する著作権は、別紙様式（著作物利用許諾書）により東北農業試験研究協議会に対して無償にて、利用の許諾が行われるものとする。

（令和3年4月1日改訂）